

南木曾町で活動する2人の地域おこし協力隊員が主催する「なぎのこマルシェ」と銘打ったイベントが28、29の両日、町内の旧妻籠小学校校舎を利用して開催される。地元の料理や手作り雑貨などの作り手と町民を結び付けようとの初企画で「子ども連れでも楽しめるので大勢の人たちに来てほしい」と呼び掛けている。(桜井祐二)

南木曾で28、29日 協力隊員マルシェ企画



「なぎのこマルシェ」のPRをする杉野さん(左)と伊藤さん(右)＝南木曾町の旧妻籠小学校で

高校生ら34団体出店

コースター作り
郷土料理販売

企画したのは、協力隊員の杉野明日香さん(三三)と伊藤恵理さん(三三)。故郷を感じさせる料理や手芸品などを作って、菓子や漬物などを仕入れて、人たちが多いため「住民たちと一緒に交流できる場になれば」と考えた。両日は、町や周辺市町村か

必要人に無料で配布するリユベーカーなど育児用品を必

「おさがり会」が二十九日の一日限定で出店。郷土料理のイタドリ料理や「からすみ」などの販売もある。さまざまな体験ができるワークショップも開催される。蘭松笠生産協同組合は笠を編む手法でコースターを作るコーナーを、木曾青峰高校(木曾町)の美術部に所属する生徒らは、石などに色を付ける子ども向けコーナーをそれぞれ設ける。カップケーキデコレーションや健康茶作り体験などもある。

開催は両日とも午前十時～午後四時。同校校舎には大人用のスリッパだけがあり、親子連れには子ども用の上履きの持参を呼び掛けている。☎

コミュニケーションスペース「ミンツク」☎050(2006)2411

作り手と町民結んで開いて